

HIV感染症と歯科:口腔内所見

新潟県はHIV/AIDSの患者さんは比較的少ない
しかし、東京、大阪、名古屋、福岡などでは既にアウトブレイク
これから、皆さんは新潟から離れて、それぞれの地域で頑張る

感染症があるからという理由で診療拒否はできません
(応召義務違反)

薬害エイズの患者さんが困っています。

HIV感染に対する歯科医師の役割

- HIV感染者の歯科治療
→ネットワーク(連携:拠点病院&開業歯科)
- HIV感染症に関連して現れる口腔内症状に気付くこと
→早期診断につながる(全歯科医医療従事者)
- 口腔内に発生するエイズ関連疾患(カンジダ症、歯肉潰瘍等)の管理 (拠点病院歯科)
→ART中の症状悪化の評価(拠点病院&開業歯科)

口腔内所見

なぜ口腔内所見が大切

- 簡単に見る(診る)事ができる。
- 直接触れることができる。
- 誰でも、どこでも見る事ができる:患者さんにも気付いてもらうことが可能。
- しかし、見えているようで見えていない部分も多い。

なぜ歯科医が診る

- 口腔内をくまなく診ることができる。
- 口腔内には多くの疾患が生じうる。
- いつも口腔内を診ていて、正常な状態、他の病的状態を理解している?
- 日和見感染を起こさないような対応が可能である。(感染巣の管理)

口腔内変化に気付くべきタイミング

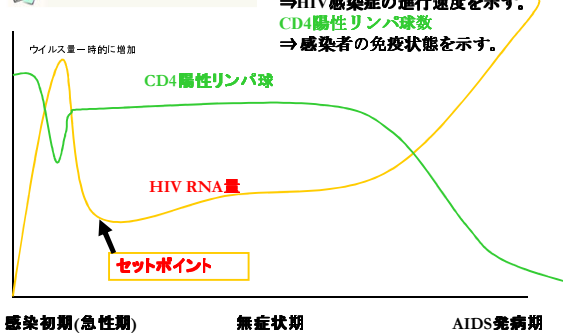
HIV感染を認識していない時期

- 感染初期の口腔内症状 (HIV感染)
- 口腔内に生じるエイズ関連疾患 (AIDS発症)

HIV感染を認識している時期

- 内科管理中(未発症者)のエイズ関連疾患 (AIDS発症)
- ART中の口腔症状発現 (AIDS発症:薬剤耐性の可能性)

ウイルス量と病気の経過



HIV感染初期の所見

症状および検査所見	例数
発熱(38°C以上)*	10
リンパ節腫脹*	7
皮疹*	6
咽頭痛*	5
下痢*	4
伝染性単核症様	4
カンジダ症	3
口腔内潰瘍	1
WBC減少	1
リンパ球減少	2
血小板減少	1
肝機能異常	4
CRP>1mg/dl	1

急性レトロウイルス症候群*
(風邪症状に似たウイルス感染症状)

カンジダ症、口腔内潰瘍
口腔毛様白板症(EBV感染)
などが初期の指標

口腔内変化に気付くべきタイミング

HIV感染を認識していない時期

- 感染初期の口腔内症状 (HIV感染)
- 口腔内に生じるエイズ関連疾患 (AIDS発症)

HIV感染を認識している時期

- 内科管理中(未発症者)のエイズ関連疾患 (AIDS発症)
- ART中の口腔症状発現 (AIDS発症:薬剤耐性の可能性)

≡エイズ関連日和見感染の口腔内症状

エイズ関連疾患

◆真菌症(カビなど)

1. カンジダ症(食道、気管、気管支、肺など)
2. クリプトコッカス症(肺以外)
3. コクシジオイデス症
4. ヒストプラズマ症
5. ニューモシスチス肺炎

◆原虫症

6. トキソプラズマ脳症(生後1ヶ月以後)
7. クリプトスポリジウム症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
8. イソスポラ症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)

◆細菌感染症

9. 化膿性細菌感染症
10. サルモネラ血症(再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く)
11. 活動性結核
12. 非結核性抗酸菌症

◆ウイルス感染症

13. サイトメガロウイルス感染症
14. 単純ヘルペスウイルス感染症
15. 進行性多巣性白質脳症

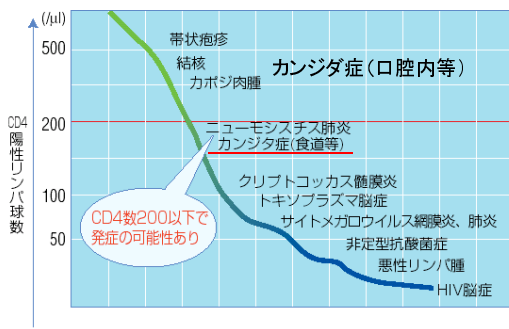
◆腫瘍

16. カポジ肉腫
17. 原発性脳リンパ腫
18. 非ホジキンリンパ腫
19. 浸潤性子宮頸癌

◆その他

20. 反復性肺炎
21. リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成
22. HIV脳症(認知症、または亜急性脳炎)
23. HIV消耗性症候群(全身衰弱、またはスリム病)

CD4陽性リンパ球数から一発症の可能性を予測



エイズに関連した口腔内症状の特色

•エイズ関連疾患

- ①口腔カンジダ症
 - ②毛様白板症
 - ③カポジ肉腫
 - ④悪性リンパ腫
- ①～③ 粘膜の色の变化

エイズに関連した口腔内症状の特色

•エイズ関連疾患

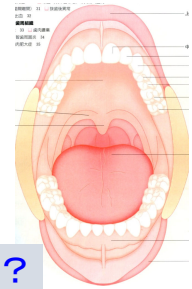
- ①口腔カンジダ症 =
 - ②毛様白板症 =
 - ③カポジ肉腫 = 暗紫色
 - ④悪性リンパ腫
- ①～③ 粘膜の色の变化

エイズに関連した口腔内症状の特色

•エイズ関連疾患

- ①口腔カンジダ症
 - ②毛様白板症
 - ③カポジ肉腫
 - ④悪性リンパ腫
- 好発部位は

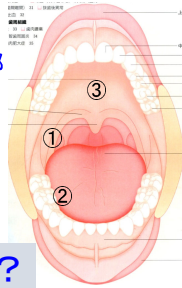
どこを見るか？



エイズに関連した口腔内症状の特色

•エイズ関連疾患

- ①口腔カンジダ症=口狭咽頭部
 - ②毛様白板症=舌側縁部
 - ③カポジ肉腫=硬口蓋部
 - ④悪性リンパ腫=顎下部
- 好発部位は



どこを見るか？

エイズ関連疾患

◆真菌症(カビなど)

1. カンジダ症(食道、気管、気管支、肺など)
2. クリプトコッカス症(肺以外)
3. コクシジオイデス症
4. ヒストプラズマ症
5. ニューモシスチス肺炎

◆原虫症

6. トキソプラズマ脳症(生後1ヶ月以後)
7. クリプトスポリジウム症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
8. イソスポラ症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)

◆細菌感染症

9. 化膿性細菌感染症
10. サルモネラ血症(再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く)
11. 活動性結核
12. 非結核性抗酸菌症

◆ウイルス感染症

13. サイトメガロウイルス感染症
14. 単純ヘルペスウイルス感染症
15. 進行性多巣性白質脳症

◆腫瘍

16. カポジ肉腫
17. 原発性脳リンパ腫
18. 非ホジキンリンパ腫
19. 浸潤性子宮頸癌

◆その他

20. 反復性肺炎
21. リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成
22. HIV脳症(認知症、または亜急性脳炎)
23. HIV消耗性症候群(全身衰弱、またはスリム病)

偽膜性カンジダ症

口峡咽頭部に嚥下痛を伴うカンジダ症が認められ、食道への広がりが考えられる。



Courtesy: C. Shiboski

口腔カンジダ症



図 3-67 右頬粘膜偽膜性カンジダ症



図 3-68 口蓋部偽膜性カンジダ症



図 3-70 軟口蓋、口蓋垂部偽膜性カンジダ症



図 3-72 軟口蓋偽膜性カンジダ症

HIV感染症の歯科治療マニュアル

池田 正一

エイズ関連疾患

◆真菌症(カビなど)

1. カンジダ症(食道、気管、気管支、肺など)
2. クリプトコッカス症(肺以外)
3. コクシジオイデス症
4. ヒストプラズマ症
5. ニューモシスチス肺炎

◆原虫症

6. トキソプラズマ脳症(生後1ヶ月以後)
7. クリプトスポリジウム症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
8. イソスポラ症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)

◆細菌感染症

9. 化膿性細菌感染症
10. サルモネラ血症(再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く)
11. 活動性結核
12. 非結核性抗酸菌症

◆ウイルス感染症

13. サイトメガロウイルス感染症
14. 単純ヘルペスウイルス感染症
15. 進行性多巣性白質脳症

◆腫瘍

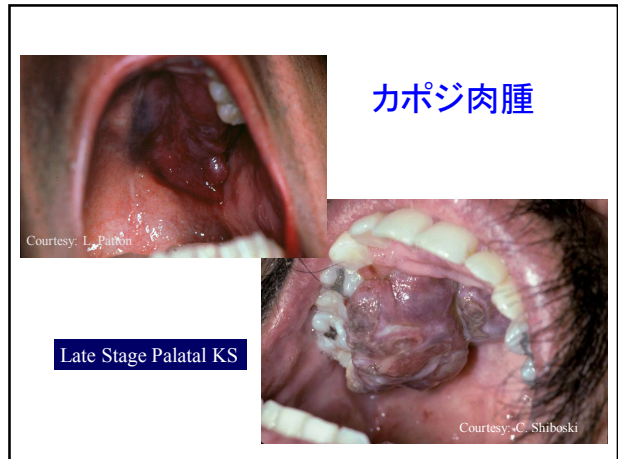
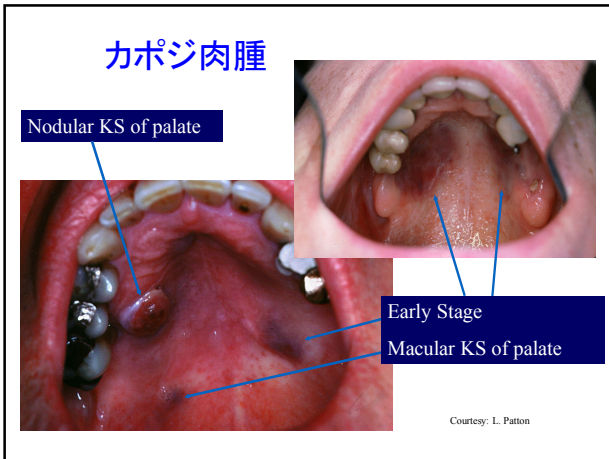
16. カポジ肉腫
17. 原発性脳リンパ腫
18. 非ホジキンリンパ腫
19. 浸潤性子宮頸癌

◆その他

20. 反復性肺炎
21. リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成
22. HIV脳症(認知症、または亜急性脳炎)
23. HIV消耗性症候群(全身衰弱、またはスリム病)

HHV(ヒトヘルペスウイルス科)

- HHV1:単純ヘルペス1型(口唇ヘルペス)
- HHV2:単純ヘルペス2型(性器ヘルペス)
- HHV3:水痘・帯状疱疹ウイルス(水痘)
- HHV4:EBウイルス(伝染性単核症、リンパ腫)
- HHV5:サイトメガロウイルス(先天性感染症)
- HHV6:ヒトヘルペスウイルス6(突発性発疹)
- HHV7:ヒトヘルペスウイルス7(突発性発疹)
- HHV8:ヒトヘルペスウイルス8(カポジ肉腫)



- エイズ関連疾患**
- ◆真菌症(カビなど)
 1. カンジダ症(食道、気管、気管支、肺など)
 2. クリプトコッカス症(肺以外)
 3. コクシジオイデス症
 4. ヒストプラズマ症
 5. ニューモシスチス肺炎
 - ◆原虫症
 6. トキソプラズマ脳症(生後1ヶ月以後)
 7. クリプトスポリジウム症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
 8. イソスポラ症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
 - ◆細菌感染症
 9. 化膿性細菌感染症
 10. サルモネラ血症(再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く)
 11. 活動性結核
 12. 非結核性抗酸菌症
 - ◆ウイルス感染症
 13. サイトメガロウイルス感染症
 14. 単純ヘルペスウイルス感染症
 15. 進行性多巣性白質脳症
 - ◆腫瘍
 16. カポジ肉腫
 17. 原発性脳リンパ腫
 18. 非ホジキンリンパ腫
 19. 浸潤性子宮頸癌
 - ◆その他
 20. 反復性肺炎
 21. リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成
 22. HIV脳症(認知症、または亜急性脳炎)
 23. HIV消耗性症候群(全身衰弱、またはスリム病)

- HIV感染関連による口腔内病変の分類 (WHO)**
- ・ウイルス感染
 - <原因ウイルス>
 - 1) 単純ヘルペスウイルス
 - 2) サイトメガロウイルス
 - 3) **エプスタイン・バー(E.B.)ウイルス**
 - ・毛様白板症
 - 4) 水痘帯状疱疹ウイルス
 - ・帯状疱疹
 - ・水痘
 - 5) ヒトパピローマウイルス
 - ・疣贅
 - ・尖圭コンジローム
 - ・巣状上皮性過形成
 - ・神経系の障害
 - 1) 三叉神経障害
 - 2) 顔面神経障害
 - ・原因不明の口腔所見
 - 1) 再発性アフタ性潰瘍
 - 2) 進行性壊死性潰瘍
 - 3) 毒性表皮潰瘍
 - 4) 創傷治癒の遅延
 - 5) 特発性血小板減少症
 - 6) 唾液腺腫脹
 - 7) 口腔乾燥症
 - 8)メラニン沈着過度



- エイズに関連した口腔内症状の特色**
- ・もう一つの変化
 - 潰瘍・水疱の形成
 - ① 急性レトロウイルス症候群
(風邪症状に似たウイルス感染症状)
 - ② エイズ関連疾患:
比較的大きな潰瘍形成

エイズ関連疾患

- ◆真菌症(カビなど)
 1. カンジダ症(食道、気管、気管支、肺など)
 2. クリプトコッカス症(肺以外)
 3. コクシジオイデス症
 4. ヒストプラズマ症
 5. ニューモシチス肺炎
- ◆ウイルス感染症
 13. サイトメガロウイルス感染症
 14. 単純ヘルペスウイルス感染症
 15. 進行性多巣性白質脳症
- ◆腫瘍
 16. カポジ肉腫
 17. 原発性脳リンパ腫
 18. 非ホジキンリンパ腫
 19. 浸潤性子宮頸癌
- ◆その他
 20. 反復性肺炎
 21. リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成
 22. HIV脳症(認知症、または亜急性脳炎)
 23. HIV消耗性症候群(全身衰弱、またはスリム病)
- ◆細菌感染症
 9. 化膿性細菌感染症
 10. サルモネラ血症(再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く)
 11. 活動性結核
 12. 非結核性抗酸菌症
- ◆原虫症
 6. トキソプラズマ脳症(生後1ヶ月以後)
 7. クリプトスポリジウム症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
 8. イソスポラ症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)

サイトメガロウイルス

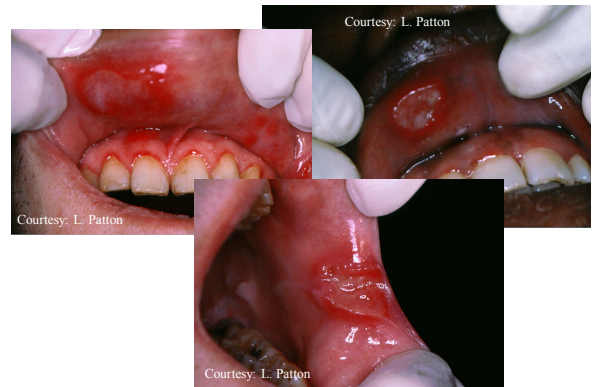
- ・診断には生検を必要とする
- ・接触によって広がる
- ・通常、眼に合併症を起こす
- ・潰瘍を形成する



HIV感染関連による口腔内病変の分類 (WHO)

- ・ウイルス感染
 - <原因ウイルス>
 - 1) 単純ヘルペスウイルス
 - 2) サイトメガロウイルス
 - 3) エプスタイン・バー(E.B.)ウイルス
 - ・毛様白板症
 - 4) 水痘帯状疱疹ウイルス
 - ・帯状疱疹
 - ・水痘
 - 5) ヒトパピローマウイルス
 - ・疣贅
 - ・尖圭コンジローム
 - ・巣状上皮性過形成
- ・神経系の障害
 - 1) 三叉神経障害
 - 2) 顔面神経障害
- ・原因不明の口腔所見
 - 1) 再発性アフタ性潰瘍
 - 2) 進行性壊死性潰瘍
 - 3) 毒性表皮潰瘍
 - 4) 創傷治癒の遅延
 - 5) 特発性血小板減少症
 - 6) 唾液腺腫脹
 - 7) 口腔乾燥症
 - 8) メラニン沈着過度

大型アフタ様潰瘍



HIV感染関連による口腔内病変の分類 (WHO)

- ・ウイルス感染
 - <原因ウイルス>
 - 1) 単純ヘルペスウイルス
 - 2) サイトメガロウイルス
 - 3) エプスタイン・バー(E.B.)ウイルス
 - ・毛様白板症
 - 4) 水痘帯状疱疹ウイルス
 - ・帯状疱疹
 - ・水痘
 - 5) ヒトパピローマウイルス
 - ・疣贅
 - ・尖圭コンジローム
 - ・巣状上皮性過形成
- ・神経系の障害
 - 1) 三叉神経障害
 - 2) 顔面神経障害
- ・原因不明の口腔所見
 - 1) 再発性アフタ性潰瘍
 - 2) 進行性壊死性潰瘍
 - 3) 毒性表皮潰瘍
 - 4) 創傷治癒の遅延
 - 5) 特発性血小板減少症
 - 6) 唾液腺腫脹
 - 7) 口腔乾燥症
 - 8) メラニン沈着過度

ウイルス疾患 ヒトパピローマウイルス



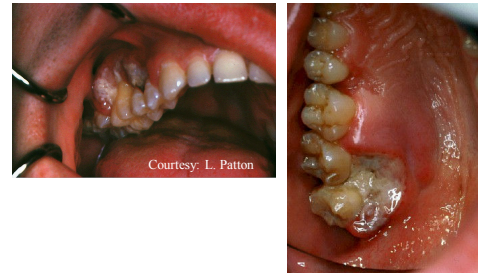
疣贅
ゆうぜい



HIV感染関連による口腔内病変の分類 (WHO)

- ウイルス感染
 - <原因ウイルス>
 - 1) 単純ヘルペスウイルス
 - 2) サイトメガロウイルス
 - 3) エプスタイン・バー (E.B.)ウイルス
 - ・毛様白斑症
 - 4) 水痘帯状疱疹ウイルス
 - ・带状疱疹
 - ・水痘
 - 5) ヒトパピローマウイルス
 - ・疣贅
 - ・尖圭コンジローム
 - ・巢状上皮性過形成
- 神経系の障害
 - 1) 三叉神経障害
 - 2) 顔面神経障害
- 原因不明の口腔所見
 - 1) 再発性アフタ性潰瘍
 - 2) **進行性壊死性潰瘍**
 - 3) 毒性表皮潰瘍
 - 4) 創傷治癒の遅延
 - 5) 特発性血小板減少症
 - 6) 唾液腺腫脹
 - 7) 口腔乾燥症
 - 8) メラニン沈着過度

壊死性潰瘍性歯周炎



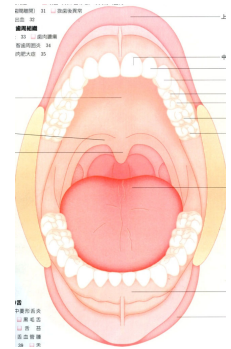
23 yo wm with HIV presents with necrotizing maxillary gingiva and alveolar mucosa (1-10-1992)

エイズ関連疾患

- ◆真菌症(カビなど)
 - 1. カンジダ症(食道、気管、気管支、肺など)
 - 2. クリプトコッカス症(肺以外)
 - 3. コクシジオイデス症
 - 4. ヒストプラズマ症
 - 5. ニューモンスチス肺炎
- ◆原虫症
 - 6. トキソプラズマ脳症(生後1ヶ月以後)
 - 7. クリプトスポリジウム症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
 - 8. イソスポラ症(1ヶ月以上続く下痢を伴ったもの)
- ◆細菌感染症
 - 9. **化膿性細菌感染症**
 - 10. サルモネラ血症(再発を繰り返すもので、チフス菌によるものを除く)
 - 11. 活動性結核
 - 12. 非結核性抗酸菌症 →口腔ケアにより減少させることが可能
- ◆ウイルス感染症
 - 13. **サイトメガロウイルス感染症**
 - 14. **単純ヘルペスウイルス感染症**
 - 15. 進行性多巣性白質脳症
- ◆腫瘍
 - 16. **カポジ肉腫**
 - 17. 原発性脳リンパ腫
 - 18. 非ホジキンリンパ腫
 - 19. 浸潤性子宮頸癌
- ◆その他
 - 20. 反復性肺炎
 - 21. リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成
 - 22. HIV脳症(認知症、または急性性脳炎)
 - 23. HIV消耗性症候群(全身衰弱、またはスリム病)

まとめ

- 口の中のどこを見れば良いか
- 何を見れば良いか
- 見つけたらどうすれば良いか



まとめ

- 口の中のどこを見れば良いか
 - : 硬口蓋、歯肉、口唇、舌
- 何を見れば良いか
 - : 色の变化(、暗紫色)
 - 潰瘍形成
- 見つけたらどうすれば良いか
 - : 拠点病院、
 - 管理している病院に紹介

